

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	普段から疑問形で声掛けを行い、利用者の意思、自己決定を尊重する取り組みが期待される。	利用者が主体性、決定権を持つ生活環境を継続する。	①職員の都合に合わせる声掛けではなく、利用者自身が決定できるよう疑問形で問いかける声掛けを行う。 ②身体拘束委員会で定期的に職員の自己のケアの確認をし、自己評価を行い改善を図る。	12ヶ月
2	23	日誌の記録、パソコンの入力に集中して、利用者に関わる時間が少なくなっているのではないか。	日誌の記入内容を簡素化し、空いた時間を利用者に携われるようにして、ケアプランの目標の実現を図る。	いつもと変わった生活状況、心身状況があれば日誌に記入し、変わらない状況は記入しない。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。